2021 KYUGEI SUMMER SCHOOL

本サマースクールは、総合型選抜試験「育成型」の出願資格、本学が指定する**『育成プログラム』に該当**します。(芸術学部のみ)

(**注**)総合型選抜試験「育成型」に出願を希望する者は、サマースクール受講後にレポートの提出が必要です。

※レポート用紙は、本学入試情報のホームページからダウンロードしてください。

《 参　考 》

総合型選抜試験「育成型」出願資格(抜粋)

■出願資格【専願制】　次の①～④すべてに該当する者

① 本学での勉学を強く希望し、入学を志す者で、合格した場合は必ず入学する者(専願制)

② 令和４年３月高等学校(中等教育学校含む)卒業見込みの者

③ 本学が指定する以下の育成プログラムを受講した者(複数の受講可)
育成プログラム:ＷＣＶ、Web模擬授業、サマースクール(芸術学部のみ)

④ 受講した育成プログラムに基づくレポートを提出し、ＫＳＵアドミッションオフィサーによる面談を受けた者

※詳細につきましては、本学ホームページ(入試情報)でご確認ください。

2021 九芸サマースクール

目次

1. 2021九芸サマースクール開催要項 ・・ 2

2. 申込用紙(高校単位で申込の場合) ・・ 3

3. 開催講座概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

2021 九芸サマースクール開催要項

九州産業大学芸術学部では、芸術の魅力を若い世代に伝えるため、高校生を対象とした夏期集中講座「2021九芸サマースクール」を開講いたします。

講座は本学芸術学部の5学科・12専攻の専門分野の中から7講座を開講し、芸術学部の専門的な施設を利用し、2日間かけ完成度の高い作品を制作します。様々な芸術表現の中から講座を選択し、体験してもらうことにより、芸術の分野の多様な表現と大学での芸術の学びを知り「芸術系」に対する興味を深め、受講された高校生の新たな可能性を引き出すことを目的としています。

※九芸サマースクールは自己推薦選抜育成型入試の育成プログラムに含まれます。本講座を受講し、自己推薦選抜育成型入試を受験する受験生は、本学入試ガイドをご参照ください。

1．開催日　2021年7月26日(月)、7月27日(火) の2日間

2．対象　高校生

3．参加費　無料

4．開催時間　9:00～14:30 (10:30から10分休憩、12:10～13:00昼休みを含む)
1時限目 9:00～10:30 → 10分休憩
2時限目 10:40～12:10 → 13:00まで昼休み※昼食は各自持参。学食(アルテリア)をご利用ください。
3時限目 13:00～14:30

5．集合場所(初日のみ)　九州産業大学 芸術学部 15号館 2階 15201教室 9:00集合 (P9参照)

6．申込方法　**【 高校単位で申込の場合 】**
P3～4の申込書にご記入の上、FAX又はE-mailでご返送ください。
E-mailでの申込をご希望の場合は、申込書の内容と同様のテキストデータをお送りください。

申込用紙の送付先
FAX：092-673-5799 E-mail：sakaim@ip.kyusan-u.ac.jp（芸術学部事務室　堺 美樹 宛） お問い合わせTEL：092-673-5700 芸術学部事務室

【 個人で申込の場合 】
右のQRコードまたは下記URLでエントリーフォームにアクセスし、お申込ください。
http://art.kyusan-u.ac.jp/summer_school.html

● 申込締切 7月19日(月)

7．講座について　P5～P8の7講座を開講します。講座の詳細については講座概要をご確認ください。

8．講座の定員について　各講座とも定員を設けています。(シラバスの講座名の欄に定員を記載)
定員をオーバーした場合は、第2希望に変更していただく場合がございますので、
必ず申込書に第2希望をご記入ください。
尚、定員は先着順で決定します。
※第1希望に添えない場合は、必ず確認のご連絡をいたします。

2021 九芸サマースクール申込書

FAX番号：092-673-5799　申込締切：7月19日(月)

高校名	
担当教諭	※高校単位でお申し込みの場合はご記入をお願いいたします。
連絡先 Tel / E-mail	

参加者名簿（その1）

No.	学年	氏名(漢字)	氏名(フリガナ)	選択講座名 ※第1・第2希望をご記入ください。
1		姓	セイ	第1
		名	メイ	第2
2		姓	セイ	第1
		名	メイ	第2
3		姓	セイ	第1
		名	メイ	第2
4		姓	セイ	第1
		名	メイ	第2
5		姓	セイ	第1
		名	メイ	第2
6		姓	セイ	第1
		名	メイ	第2
7		姓	セイ	第1
		名	メイ	第2

用紙が足りない場合コピーしてお使いください。

FAX番号：092-673-5799　申込締切：7月19日(月)　用紙が足りない場合コピーしてお使いください。

高　校　名	

参加者名簿（その2）

No.	学年	氏名(漢字)	氏名(フリガナ)	選択講座名 ※第1・第2希望をご記入ください。
8		姓	セイ	第1
		名	メイ	第2
9		姓	セイ	第1
		名	メイ	第2
10		姓	セイ	第1
		名	メイ	第2
11		姓	セイ	第1
		名	メイ	第2
12		姓	セイ	第1
		名	メイ	第2
13		姓	セイ	第1
		名	メイ	第2
14		姓	セイ	第1
		名	メイ	第2
15		姓	セイ	第1
		名	メイ	第2
16		姓	セイ	第1
		名	メイ	第2

開催講座概要

講義名	平面構成（定員：20名）	担当	ビジュアルデザイン学科 イラストレーションデザイン専攻	三枝 孝司

■講義概要

平面の基本は点・線・面です。点が移動すれば線となり、線が移動すると面になります。構成基礎（平面）の授業ではこれら3つの要素から「平面構成」を学びます。平面構成の勉強の目的は、豊かな発想力（アイデア）と美的感性（センス）を養うことです。発想力と美的感性は、デザイナーに最も重要な「創造力」を生み出すために、必要不可欠なものです。例えば、ものを創造するために道具や技術は必要ですが、それらが揃えば優れた作品ができるわけではありません。道具や技術は優れた作品を作るための必要条件であっても、十分条件とはなりません。「創造力」が備わってこそ、優れたデザイン作品となります。この授業で、構成に対する関心を深め美しい表現を追求し、今後の学習へと結びつけて下さい。

■講義スケジュール

7月26日(月)	授業の概要：授業内容・方法についての説明 平面構成について：発想の方法と複数のアイデアを提案する練習を行い、 複数のアイデアから最も美しいデザインを選択し、平面構成作品を制作する。
7月27日(火)	平面構成によるトートバックのビジュアル制作：1日目に制作した作品を用い、 シルクスクリーン印刷でトートバックを制作する。 講評会：作品のイメージとコンセプトについて

■受講上の注意

集中力をもって、与えられた時間を有効に使い学習して下さい。またシルクスクリーン印刷では、服が汚れる可能性があるため、エプロンやジャージ等の汚れても差し支えのない作業着を用意して下さい。

■持ってくるもの

鉛筆及び筆記用具一式、ノート、30㎝以上の直定規、糊、カッター、ハサミ、エプロン等の作業着

講義名	立体構成（定員：20名）	担当	生活環境デザイン学科 空間演出デザイン専攻	栗田 融

■講義概要

我々は、様々なモノで構成されている場（空間）で過ごしています。それぞれのモノには形があり、ある材料でできています。そして、そのあり方によって過ごしやすさが変わったり、気持ちを変化させたりしています。それらは、心理的な面や生理的な面が重視されるモノもありますし、物理的な面が重視されるモノ、全てが同様に重視されるモノなど様々です。造形活動をするにあたっては、三次元での空間認知を行い、モノとモノとの関係やモノと人間との関係を考える必要があります。構成基礎（立体）では、材料や形が持つ特性、その大きさや配置による効果や影響などを実践的に知ることを目的とします。まずは試してみて、自分自身で確認し、造形の基礎力を身につける入り口としてください。

■講義スケジュール

7月26日（月）	授業の概要：授業内容・方法についての説明 立体構成：手始めに具体的な目的を持った立体を制作し、道具の扱いに慣れ、素材の特性を把握する練習を行う。次に、立体構成の基礎課題に取り組み、モノとモノやモノと人との関係を考える。
7月27日（火）	立体構成：前日の制作において発見した視点や反省すべき点を認識したうえで、立体構成の新たな課題に取り組む。 講評会：各人が作品の制作意図を発表し、講評を受ける

■受講上の注意

受け身ではなく、能動的に受講してください。質問は随時受け付けますので、遠慮せず有効な時間にしてください。

■持ってくるもの

鉛筆など筆記用具、ノート（無地が望ましい）、定規・コンパス・カッター・ハサミ・糊などで使い慣れているもの
（金属製定規や接着剤等は貸与もします。課題で使用する材料は支給します。）

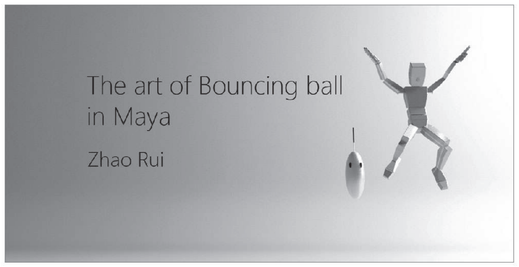
講義名	3DCGアニメーション制作（定員：6名）	担当	芸術表現学科 メディア芸術専攻	趙　瑞

■講義概要

「Animation」という言葉は魂、生命を意味するラテン語の「anima」からきています。すなわちCGアニメーターとは、キャラクターなどのモデルに生命を与える仕事と言えます。本講義では、生き生きとした動きを生み出すためのアニメーションのさまざまな表現方法を「Maya」というソフトを使って学びます。例えば、物の重さや動きの速さ、柔らかさなどを表現するために、質量を変えずに潰したり伸ばしたりする手法。さらに、見ている人により効果的に感情移入させるための演出など、キャラクターに命を吹き込むために必要となる、アニメーションの基礎となる手法について学んでいきます。

■講義スケジュール

7月26日（月）	アニメーションの歴史および ソフトウェアの基本を学び、 実際にCGソフトウェアの オペレーションを行います。
7月27日（火）	CGアニメーション制作を行います。



■受講上の注意

特になし

■持ってくるもの

筆記用具

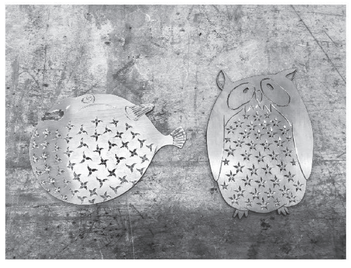
講義名	動物モチーフによるおろし金の制作（定員：10名）	担当	生活環境デザイン学科 工芸デザイン専攻	新 啓太郎

■講義概要

動物をモチーフに、「おろし金」と呼ばれるすりおろし器具を制作します。本授業では、使用感と見た目の可愛さや美しさ、面白さの調和を探り、オリジナルの「おろし金」を考え制作します。「おろし金」は目立てと言って、彫金の主要工具である鏨（たがね）で銅板を彫って鋭い刃物のような突起を彫り起こします。「おろし金」の道具としての役割・特性を理解し、用途だけでなく見て楽しい、使って楽しい作品を作り上げましょう。この2日間の授業で創造し形にすることへの関心を深め、今後の学習へと結びつけてください。

■講義スケジュール

7月26日（月）	授業の概要、材料と道具の説明。 モチーフ選定と図案の作成。　材料の切り出し。
7月27日（火）	目立ての練習 ヤニ付 → 目立て→ 研磨 → 完成。（完成後、使用感を確かめる）



■受講上の注意

集中力をもって与えられた時間を有効に使い学習してください。また、金属加工では、服が汚れる可能性が高いため、エプロンやジャージ等の汚れても良い服装をしてください。

■持ってくるもの

筆記用具
ウエス（作品を拭き上げる布）
カッターもしくはハサミ
エプロン等の作業着

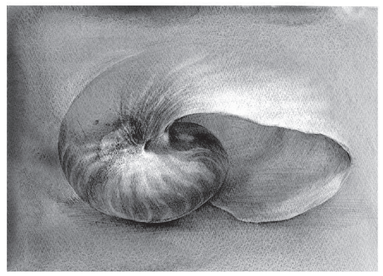
講義名	細密デッサン・細密画を描く（定員：8名）	担当	芸術表現学科 絵画専攻	渡抜　亮

■講義概要

絵画の基礎はよく観察し描く事です。小さなモチーフをよく観て制作する面白さは、西洋で細密絵画というジャンルが発展し盛んに制作されたことからも伺えます。この講義では、通常とは少し違った制作法でデッサンを行った上で、羊皮紙を使用し細密画を制作します。材料の性質を手で体験しながら、完成までの過程を学びます。

■講義スケジュール

7月26日（月）	授業の概要、材料と道具の説明。 モチーフ選定と有色地デッサンの制作。
7月27日（火）	古典細密画の制作法を参考に、羊皮紙を使用し制作・完成。



■受講上の注意

集中力をもって時間を有効に使い制作してください。また、汚れることを想定し、汚れても良い服装で参加してください。

■持ってくるもの

筆記用具、タオル（筆など拭くため）

講義名	～ソーシャルデザイン～海洋ごみ問題を見つめてみよう。 ～海洋ゴミを見る万華鏡づくり～ （定員：15名）	担当	ソーシャルデザイン学科 地域ブランド企画専攻	伊藤 敬生

■講義概要

ソーシャルデザインってなに？ソーシャルグッドな視点を持つってどういうこと？
四方海に囲まれた九州にとって大きな社会問題のひとつ「海洋ごみ問題」をどうしたら解決できるか、たのしく、まじめに、みんなで見つめ考えてみませんか！最終日には、海洋ごみ問題を抱え離島のひとつ五島の小値賀島に漂着した海洋プラスチックごみで「万華鏡をつくるワークショップ」を行います。

■講義スケジュール

7月26日(月)	①講師自己紹介（はじめまして）②生徒のみなさん全員の自己紹介 ②ソーシャルデザインとは？ソーシャルグッドとは？ ③映画「プラスチックの海（100分）」上映
7月27日(火)	①いま福岡の海はどうなってますか？「ふくおかFUN」大神弘太朗さんに聞く福岡の海のお話 ②海洋プラごみリサイクルの話　「TSUYAZAKI BASE CAMP」でつくられたプロダクト紹介 ②OJIKA ISLAND GREEN TRIP　小値賀島での「海ごみプロジェクト」のお話 ③海洋ゴミを見る万華鏡づくり　海洋ごみ問題を抱える離島のひとつ小値賀島に漂着した海洋プラスチックごみで万華鏡をつくるワークショップ

■受講上の注意

特にありません。

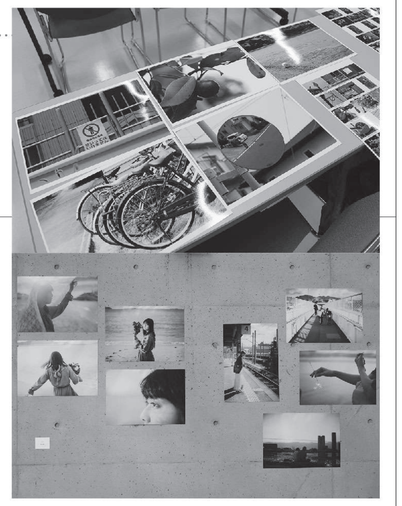
■持ってくるもの

できれば「海洋ごみ問題」を調べてきてほしいです。

講義名	写真展をつくる （定員：5名）	担当	写真・映像メディア学科 写真専攻	大日方 欣一

■講義概要

夏の一日を、写真で表現してみよう。デジタルカメラで身のまわりの世界を見つめ、撮影しよう。撮った写真のデータをじっくり見直し、そこにどんな眼差しが現れているかを検討しよう。写真をセレクトし、一組の作品にまとめよう。写真を大きなサイズで出力し、展示プリントを作って、大学内のスペースに展示してみよう。本講座をつうじ、写真表現の面白さを存分に味わってください。



■講義スケジュール

7月26日(月)	授業の概要について説明。 大学付近でのスナップ撮影。 パソコン室でデータチェック。 セレクト、出力方法のガイダンス。
7月27日(火)	前日～当日の撮影データを検討。 作品セレクト、プリンターで出力。 大学内のスペースで展示をおこなう。講評とまとめ。

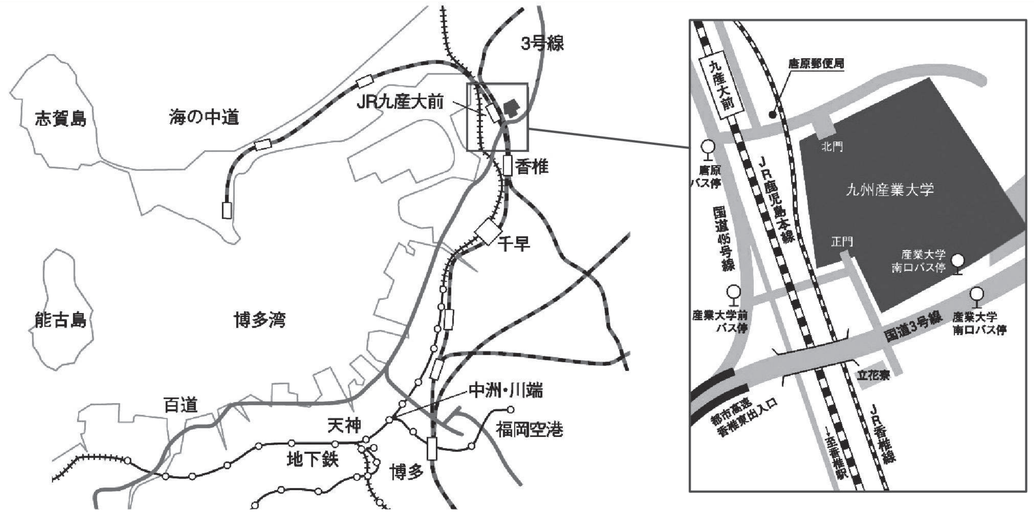
■受講上の注意

屋外で撮影をおこなうので、水分補給、帽子など、各自で熱中症対策をしてください。

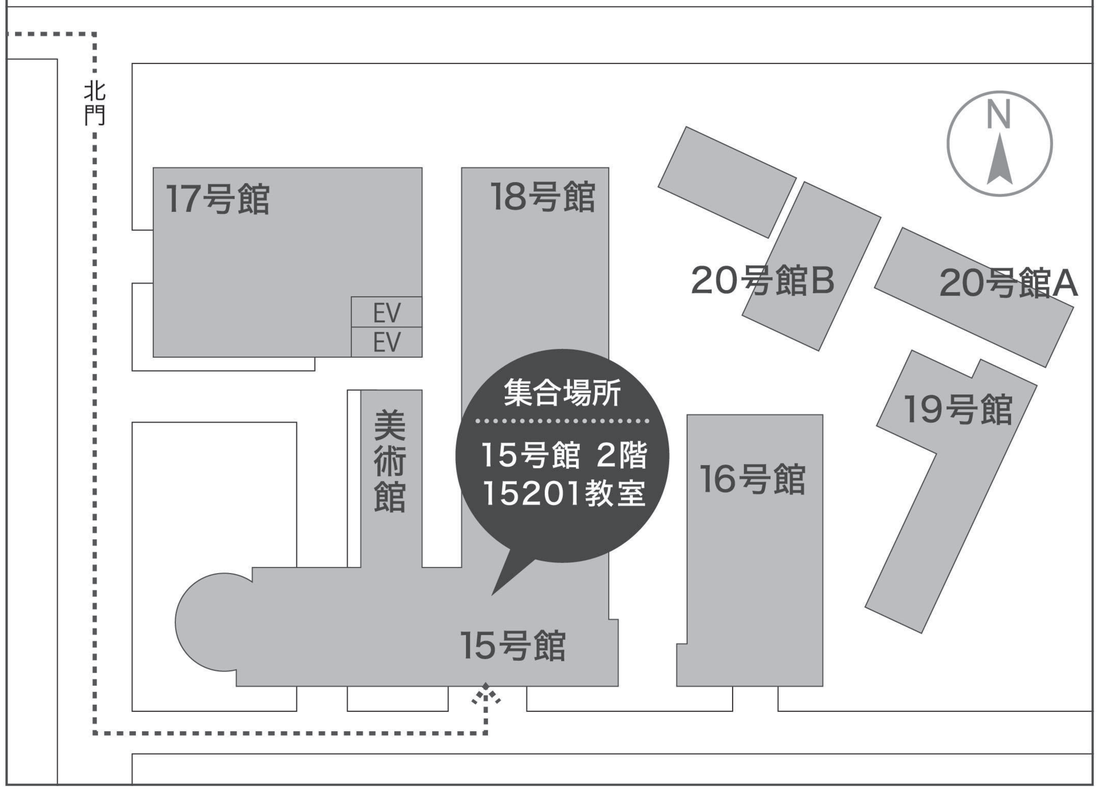
■持ってくるもの

デジタルカメラ

九州産業大学アクセス



JR	博多駅から上り普通電車で約15分、「九産大前」駅下車／徒歩約1分※特急・快速利用の場合は「香椎駅」下車
西鉄バス	天神中央郵便局前 (18Aのりば) から都市高速経由で約15分「唐の原」バス停下車／徒歩約2分

学内地図

←JR九産大前駅